

「私のお人形さん」

「どなたにいたゞいたの?」

「ババのおみやげ」ゆつくりした調子で答へながら相不變ニコ／＼してゐた。

お迎ひがおそらくても、心配して泣くような事はない、麥藁帽子をあみだにかぶつて、人の居ない玄關の段々に一人ボチにて腰をかけて、のんきにいつまでゝもまつてゐる。

「長崎へ轉任いたしますので」と退園届を母様がもつていらした時、羽二重の白い服をきて、相變らず口もとに笑くぼをみせてゐたのんきな千富美さんの様子にはさら先生はつらい思ひをした。  
「お姉様に御本の間へ入れておいたゞきなさいね」と庭の萩を一枝、小さい、肥た手にもたせて、自分のと思つてゐるもの的手からもぎ取られてしまふやうな氣持で——先生は見送つてゐた。

## 幼兒感情調査

城東幼稚園調査

左に掲ぐるは大正三年より同五年に至る三年間東京市日本橋區域東幼稚園に於て擔任保姆をして毎年四月入園の幼兒に就き入園當時一ヶ月以内に於て調査せしめたる幼兒感情調査表なり。因に該調査の對象たりし幼兒數は全體に於て百九十三名なりき。

### Ⅰ 崇敬感情

崇敬感情を調査すべく幼兒に對して發せる質問語は「一パンエライカタ」と一定せり。

神武天皇 を擧げたるもの

三名

天皇陛下

神

乃木大將

六

大將

一

祖父

二

母

五

父

四

母

三

六

愛慕愛情を調査すべく幼兒に對して發せる質問語は「一パンス

## II 愛慕感情

不鬼駒自雇友弟男大姉兄桃武軍巡先  
ケ  
明女嶽己人  
人郎士人查生

四四一一六八三三三一一二八一一八三二

美弟大先友雇子赤妹姉兄伯伯母父祖  
人將生人人供坊母父母父

キナカタ」と一定せり。

を挙げたるもの

一一一七七四二一三三二二一一三三四二二名

### III 憎惡感情

憎惡感情を調査すべく、幼児に對して發せる質問語は「一パンキライナヒト」と一定せり。

他 雇 友 赤 妹 弟 姉 兄 伯 母 父 祖 祖  
人 人 人 坊 父 母 父 を舉げたるもの

一 三 四  
八 ○ 二 二 一 七 五 三 一 ○ 七 五  
名

二 一

### IV 乞 明 歎 恐怖感情

恐怖感情を調査すべく幼児に對して發せる質問後は「一パンコワイモノ」と一定せり。

鬼 天 按 慢 惡 友 隣 大 警 兄 父 祖 祖  
狗 摩 童 人 人 將 官 父 を舉げたるもの

一 四 一 一 一 一 二 二 三 四 一 ○ 一 六 五 四  
名

五 九 一

おばけ

佛 閻 盗 狐 鯨 お

魔 賊 様

面

猪 牛

三ツ目小僧

五六

犬 狼 鰐 獅 猫 蛇 海

明 明

人 死

鯛 の

老 子

四二一 一一三 三三一 三四二

# フレーベルの思想

|| フレッチャーに據る ||

紹介子

萬有神論

自然が可見的の靈であり、靈が不可見的自然であるといふこと、事物は靈を實在とせるもの、外